

## 第2章 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 1 基本的考え方

#### (1) 第2期総合戦略策定の経緯

国においては、少子高齢化・人口減少という我が国が直面する大きな課題に対して政府が一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指すため、内閣総理大臣を本部長とする「まち・ひと・しごと創生本部」が平成26(2014)年に設置された。さらに、東京一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した地域課題の解決の3つの視点を基本とした第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27(2015)年度～平成31(2019)年度)が策定され、魅力ある地方の創生を目指すこととされている。

第2期(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度)にあたり、国では、現行の枠組みを引き続き維持し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいくこととしており、以下のとおり、4つの基本目標に加え、新たな横断的な目標を設定するなど、必要な見直しを行っている。

#### 【4つの基本目標】

- 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

#### 【新たな横断的な目標】

- 1 多様な人材の活躍を推進する
- 2 新しい時代の流れを力にする

本市においても、少子高齢化・人口減少は重要な課題と認識しており、これまでもこれらの問題に資する施策を行ってきたが、国の方針と一体的な対応を行うため、平成27(2015)年10月に「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27(2015)年度～平成31(2019)年度)(以下、「総合戦略」という。)を策定し、地方創生に全力で取り組んでいるところである。

これまでの本市の地方創生の取組や国の動向、北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会(以下、「推進協議会」という。)の構成員からの御意見等を踏まえ、第2期総合戦略を策定するものである。

第2期総合戦略の基本方針及び基本目標は以下のとおりである。

## 【基本方針】

女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、SDGsを原動力に地方創生の「成功モデル都市」を目指す

- ・産業の活性化と生産性の向上
- ・質の高い暮らしと快適なまちの実現

## 【基本目標】

- 1 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 2 北九州市への新しいひとの流れをつくる
- 3 女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる

## (2) 第1期総合戦略の総括（成果と課題）

第1期総合戦略は、平成27（2015）年度から令和元（2019）年度の計画期間において、「女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の『成功モデル都市』を目指す」という基本方針のもと、「Ⅰ北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」、「Ⅱ北九州市への新しいひとの流れをつくる」、「Ⅲ若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「Ⅳ時代に合った魅力的な都市をつくる」を基本目標とし、15の数値目標を設定して、オール北九州で地方創生の取組を推進するための戦略として策定されたものである。

### ア 社会動態の改善

基本方針である「社会動態をプラス」にしていくことは、令和元（2019）年末時点では未達成であるものの、第1期総合戦略がスタートした平成27（2015）年の社会動態と比較すると、平成27（2015）年が△2,463人であるのに対し、令和元（2019）年は△365人となっており、改善傾向にある。（図2-1）

具体的には、令和元（2019）年7月の総務省発表（「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」）によると、本市の社会動態の減少数は、平成26（2014）年以降、全国市区町村の中でワースト1、2位であったが、平成30（2018）年はランキング外（ワースト10位以下）となるなど、その成果は目に見える形になってきた。

人口移動の要因は様々であるが、その多くは仕事、結婚、住宅の購入、入学・進学などのライフイベントがきっかけであり、第1期総合戦略において、若者の地元就職促進をはじめ、定住・移住やU・Iターン関連の取組、子育て支援、企業誘致などの施策を総合的に取り組んだことが社会動態の改善につながっているものと考えられる。加えて、近年の外国人市民の増加も社会動態に影響している。

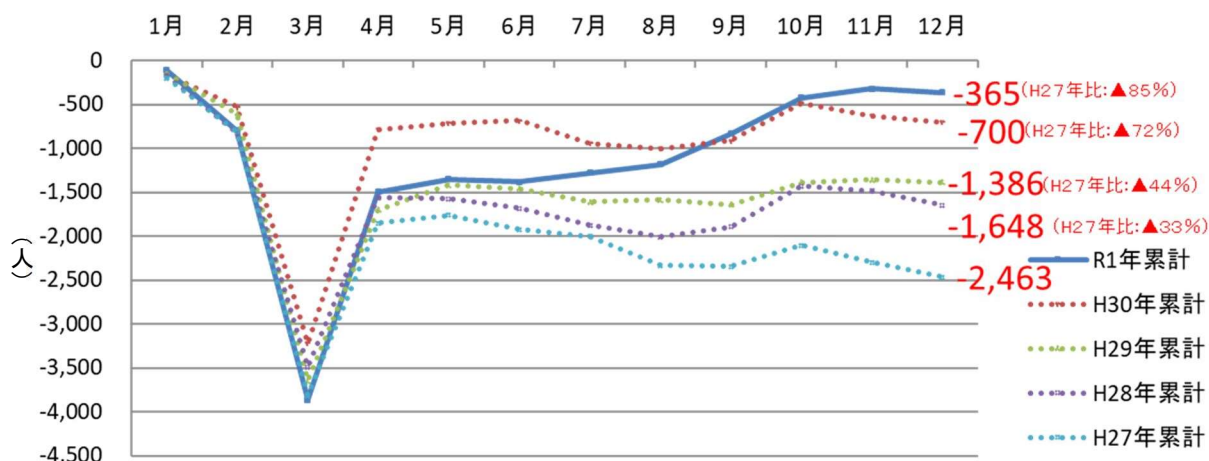


図2-1 社会動態の推移

## イ 基本目標における数値目標の進捗状況

第1期総合戦略に定めた15の数値目標のうち、定量的に効果測定できる12の目標については、半数以上の7目標で、達成率(※)が80%以上となるなど一定の成果を挙げている。主な数値目標の進捗状況は、以下のとおりである。

(※) 達成率=平成30(2018)年度の実績値/令和元(2019)年度目標値

### 基本目標Ⅰ「北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」

#### 数値目標「市内大学生地元就職者数」

就職者数は増加しているものの、全国的な人材不足の中で東京圏への就職者数が増加するなど、目標達成に向けては厳しい状況にある。【達成率74%】

#### 数値目標「市内新規雇用者数(累計)」

洋上風力発電をはじめとした環境・エネルギー分野などの地域の強みを活かした産業クラスターの形成、新たな成長分野であるロボット産業の振興やIT産業の誘致、インバウンド需要の取込による観光振興やMICEの推進など、経済成長に向けた政策を進めるとともに、労働生産性を上げることで、企業が収益を上げ、賃金・雇用が増えるよう、好循環につながる取組を進めており、着実に増加している。【達成率91%】

### 基本目標Ⅱ「北九州市に新しい人の流れをつくる」

#### 数値目標「首都圏からの本社機能移転等(累計)」

本市独自のインセンティブ(補助金)の効果が出始めており、着実に進捗してきている。【達成率63%】

#### 数値目標「外国人観光客数」

近年の訪日旅行意欲の高まりや韓国・台湾などへの継続的なセールス、官民一体の精力的なPR活動に加え、本市への国際航空定期便の就航や大型ク

ルーズ船の寄港等により、外国人観光客数は堅調に増加している。策定当初からこれまでに2回、目標数値を上方修正している。【達成率 99%】

### **基本目標Ⅲ「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」**

#### **数値目標「合計特殊出生率」**

待機児童ゼロの取組や小児救急医療体制の整備など子育て環境の充実に継続して力を入れてきたことが政令市トップクラスという高い出生率の維持につながっていると考えられる。【政令市トップクラスを維持】

#### **数値目標「ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）」**

女性活躍・ワークライフバランス表彰を受賞する企業が着実に増加するなど、企業へのアドバイザーの派遣や各種セミナーの開催等による企業等への取組支援が進んでいる。策定当初からこれまでに1回、目標数値を上方修正している。【達成率 110%】

### **基本目標Ⅳ「時代に合った魅力的な都市をつくる」**

#### **数値目標「「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合」**

市民の「まち」に対するシビックプライドの醸成に向けて、本市の多様な魅力の発信や生活利便性の向上など多方面からのアプローチに加えて、市民が主体となって「まち」をよくしようとする当事者意識に基づく自負心を育むことが重要であり、非常に時間がかかるものと考えられる。【達成率 68%】

#### **数値目標「「安全だ（治安がよい）」と思っている市民の割合」**

刑法犯認知件数がピーク時から約84%減少し、暴力団情勢も劇的に改善されたことや通勤や買い物等の途中に防犯の視点を持って地域を見守る「ながら見守り活動」等を推進し、地域の見守りの目が増加していることなどが体感治安の向上につながっている。【達成率 94%】



【参考：第1期総合戦略における数値目標の進捗状況】

基本目標Ⅰ「北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」

| 数値目標                                     | 平成27年度<br>(2015) | 平成28年度<br>(2016) | 平成29年度<br>(2017) | 平成30年度<br>(2018) (A) | 令和元年度<br>(2019) (B)<br>【目標値】 | 達成率<br>(A)/(B) |
|--|------------------|------------------|------------------|----------------------|------------------------------|----------------|
| 市内大学生<br>地元就職者数<br>(年間)                  | 813人             | 812人             | 873人             | 891人                 | 1,200人                       | 74%            |
| 市内<br>新規雇用者数<br>(累計)                     | 3,378人           | 8,510人           | 12,915人          | 18,148人              | 累計2万人                        | 91%            |
| 空港利用者数<br>(年間)                           | 132万人            | 140万人            | 164万人            | 178万人                | 200万人<br>※R2(目標)             | 89%            |
| 航空貨物<br>取扱量<br>(年間)                      | 7千トン             | 8千トン             | 5千トン             | 9千トン                 | 30千トン<br>※R2(目標)             | 30%            |
| ものづくりと環境・<br>エネルギーに関する<br>経済波及効果<br>(累計) | 820億円            | 1,592億円          | 2,355億円          | 2,537億円              | 累計<br>約9,500億円               | 27%            |

基本目標Ⅱ「北九州市に新しい人の流れをつくる」

| 数値目標                      | 平成27年度<br>(2015) | 平成28年度<br>(2016) | 平成29年度<br>(2017) | 平成30年度<br>(2018) (A) | 令和元年度<br>(2019) (B)<br>【目標値】 | 達成率<br>(A)/(B) |
|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|------------------------------|----------------|
| 首都圏からの<br>本社機能移転等<br>(累計) | 2社               | 7社               | 12社              | 19社                  | 累計30社                        | 63%            |
| 小倉駅新幹線口<br>年間集客数<br>(年間)  | 337万人            | 344万人            | 431万人            | 414万人                | 300万人<br>以上                  | 138%           |
| 外国人観光客数<br>(年間)<br>※1     | 25.2万人           | 34.9万人           | 68.2万人           | 69.1万人               | 70万人                         | 99%            |

※1 当初目標値を達成したため、目標値を上方修正(当初目標値:26万人(2015.10)→40万人(2018.2)→70万人(2019.4))。当初目標値に対しては、266%の達成率である。

基本目標Ⅲ「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

| 数値目標                                   | 平成27年度<br>(2015) | 平成28年度<br>(2016) | 平成29年度<br>(2017) | 平成30年度<br>(2018) (A) | 令和元年度<br>(2019) (B)<br>【目標値】 | 達成率<br>(A)/(B) |
|--|------------------|------------------|------------------|----------------------|------------------------------|----------------|
| 25~44歳の<br>女性の就業率                      | —                | 70%              | —                | —                    | 70%                          | 100%           |
| ダイバーシティ<br>行動宣言等<br>登録・届出企業<br>(累計) ※2 | 697社             | 929社             | 1,106社           | 1,319社               | 累計<br>1,200社                 | 110%           |
| 合計特殊出生率<br>※3                          | 政令市2位<br>(1.59)  | 政令市1位<br>(1.61)  | 政令市1位<br>(1.60)  | —<br>(1.61)<br>※4    | 政令市<br>トップクラス<br>を維持         | —              |

※2 当初目標値を達成したため、目標値を上方修正(当初目標値:累計800社(2015.10)→累計1,200社(2018.2))。当初目標値に対しては、165%の達成率である。

※3 合計特殊出生率は、年度ではなく年で算定している。

※4 平成30年の合計特殊出生率は、一部の政令市が集計中のため、現時点で順位不明。

## 基本目標Ⅳ「時代に合った魅力的な都市をつくる」

| 数値目標                        | 平成 27 年度<br>(2015) | 平成 28 年度<br>(2016) | 平成 29 年度<br>(2017) | 平成 30 年度<br>(2018) (A) | 令和元年度<br>(2019) (B)<br>【目標値】 | 達成率<br>(A)/(B) |
|-----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------------|------------------------------|----------------|
| 「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合     | 54%                | 58%                | 57%                | 54%                    | 80%以上                        | 68%            |
| 「安全だ（治安がよい）」と思っている市民の割合     | 73%                | 78%                | 79%                | 85%                    | 90%以上                        | 94%            |
| 刑法犯認知件数<br>(人口千人あたり)<br>※5  | 政令市<br>13 位        | 政令市<br>11 位        | 政令市<br>12 位        | 政令市<br>12 位            | 政令市で<br>ベスト3                 | —              |
| 公共施設<br>マネジメント<br>(公共施設保有量) | 実行計画<br>策定         | 実行計画<br>推進         | 実行計画<br>推進         | 実行計画<br>推進             | 今後 40 年間で<br>20%削減 ※6        | —              |

※5 刑法犯認知件数は、年度ではなく年で算定している。

※6 平成 28 (2016) ~令和 37 (2055) 年度までの目標値

### (3) まちの現状と将来（地域特性と課題）

#### ア 産業構造

日本を代表する産業都市として発展してきた本市では、素材産業（鉄鋼や化学等）や加工組立産業（機械や自動車等）、環境関連産業（リサイクル等）など、時代とともに高度な技術が求められる様々な業種の企業が立地している。また、本市が地震や災害が少ない地域であることが評価され、BCP（業務継続計画）の観点から立地する企業も増えている。

#### イ 地域資源

本市には、鉄鋼や化学等の素材産業、機械等の加工組立産業を中心に、ものづくり産業が集積しており、近年は自動車産業・環境産業なども展開されている。

さらに、本市は本州と九州の接点に位置し、交通の要衝として、陸・海・空の交通が充実している。道路（九州自動車道・東九州自動車道・北九州都市高速道路）、国際拠点港湾である北九州港、24 時間対応の北九州空港など産業を支えるインフラが整っている。

また、「知の集積」として、九州工業大学や産業医科大学、北九州市立大学など 10 大学に加え、北九州学術研究都市や九州ポリテクカレッジ、北九州工業高等専門学校など特色ある学校・研究拠点が立地している。

## ウ 今後取り組む課題

本市は人口減少や高齢化・産業構造の変化といった、将来の日本の大都市が抱える課題に一足早く直面している。

本市の社会動態は、昭和 40（1965）年に減少に転じて以降、50 年以上減少が続いており、多い時には年間で約 15,000 人ももの転出超過となったときもあった。しかし、これまでの取組により、令和元（2019）年は転出超過が 365 人まで改善してきている。外国人市民は増加傾向にあるものの、全体では転出超過の状態が続いている。特に、20 代から 30 代の若者の転出が顕著であることから、若い世代の定着促進が喫緊の課題である。

さらに、ものづくり産業の集積を活かし、安定した雇用の創出と新たな成長産業の振興を図るほか、生産年齢人口が減少する中で、Society5.0 の実現に向けて大きな影響を及ぼす新たな技術の進展や働き方改革の推進に伴い、持続可能な産業都市の実現に向けて、新たな働き手の確保や生産性向上に取り組む必要がある。

また、本市は「SDGs 未来都市」として SDGs のトップランナーを目指し、「日本一住みよいまち」の実現に向けて、様々な取組を有機的に連携させながら進めていくことが重要である。

～SDGs(持続可能な開発目標)とは～

2015 年 9 月の国連のサミットで、すべての加盟国(193 カ国)が採択した、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことである。SDGsは、17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国も取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本全体で取り組むべき目標である。北九州市も自治体として、市民や企業、団体などと連携し、市一丸となって、SDGsの達成に向けて取り組んでいく。

### (4) 第 2 期総合戦略の方向性

国は、第 1 期で根付いた地方創生の意識や取組を令和 2（2020）年度以降も継続し、「継続を力にする」という姿勢で次のステップに向けた歩みを確かなものとするため、より一層の充実・強化に取り組むとしている。

国の方向性も踏まえ、本市においても、これまでの本市の地方創生の取組の成果や課題を整理するとともに、従来の枠組みを維持しつつ、時代の流れを踏まえ、必要な見直しと一層の充実・強化を図ることとする。

「女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の『成功モデル都市』を目指す」という基本方針は堅持しつつも、日本全体で人口が減少していくなか、「人口」や「社会動態」という人の動きだけに捉われず、新たに「経済」や「まちづくり」の視点を基本方針の下に位置付けることとしている。

「経済」については、将来の産業構造の変化を見据えた産業振興や地域経済の活性化、「まちづくり」については、市民一人ひとりの質の高い豊かな暮らしの実現、若い世代が住みたいまちづくり、スマートシティによる快適なまちの実現などを目指しており、「新たな仕事の創出により新たな人の流れやまちのにぎわいが生まれ、そこでさらに新たな仕事が創出される」という好循環を生み出す社会につなげる。

また、若者の定着の一層の促進に向けて、若者の声を幅広く収集し、政策に活かしていく。

さらに、SDGsの達成には「経済」・「社会」・「環境」の三つの側面の総合的な取組が重要とされているが、その取組がまさに地方創生の取組そのものであり、地方創生の原動力となることから、第2期では基本方針の中に新たに「SDGsの推進」を掲げ、一体的に取り組むこととする。

加えて、基本目標や事業のKPIについては、選択と集中の観点から見直しを進め、例えば、行政評価の内容を活用するなど効率的・効果的な進捗管理に努めていく。

#### (5) 第2期総合戦略の位置づけと政策5原則の実現

「総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律136号）第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」とする。また、市政運営の基本方針である北九州市基本構想・基本計画（『「元気発進！北九州」プラン』）の分野別計画として、本市の地方創生を推進するための理念や取組を定めるものである。

また、総合戦略の実現に向けた施策の展開は、国の動向を注視しながら、適切に対応していくこととする。

加えて、政策の企画・実行にあたっては、国の政策5原則をしっかりと受け止めた対応を行う。

#### 【政策5原則の実現】

- ・ 自立性：国や県の総合戦略の施策を実施し、又は拡充することに加え、本市独自の施策を組み合わせ、効率的に最大限の効果を得ていく。そのため、各施策を迅速に展開し、相乗効果が発揮できるよう、国、県との連携強化、推進協議会での機能的・横断的な連携により、「しごと」を創出し、「ひと」を呼ぶ好循環を確立していく。
- ・ 将来性：市内や国内にとどまらず、アジアとつながる施策を同時並行的に実施することで、外部の成長力を取り込んでいき、「ひと」が「しごと」を呼び込む持続的な成長サイクルを形成し、将来性を確保していく。
- ・ 地域性：本市の地域特性をさらに強め、地方創生に必要な課題を克服する施策を企画立案し、実行する。
- ・ 総合性：最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を実施する。
- ・ 結果重視：PDCAメカニズムのもと、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

#### (6) 第2期総合戦略の期間

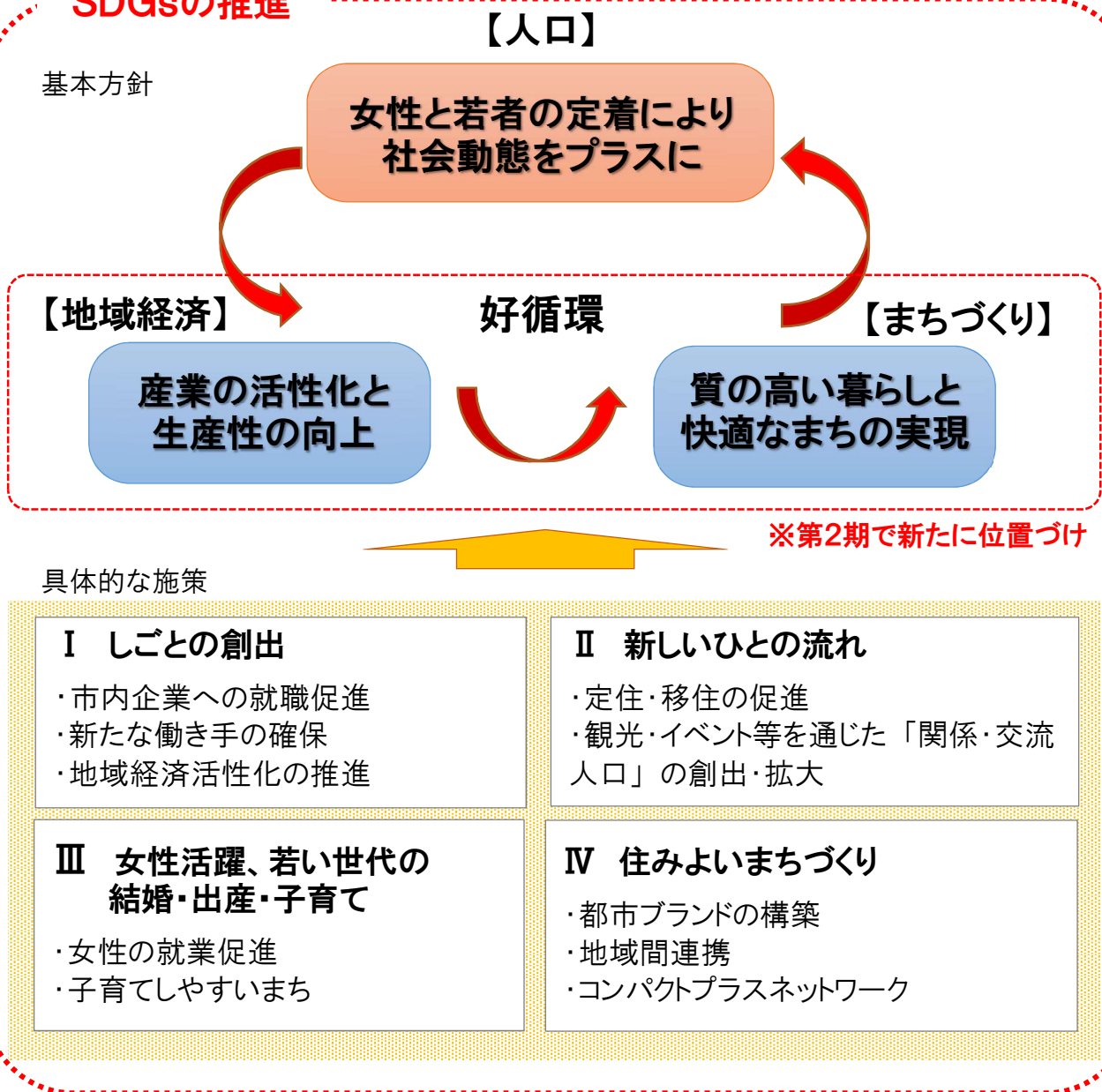
令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とする。

## 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の概要

### 策定のポイント

- 社会動態(転入と転出の差)は改善傾向にあるが、依然として若い世代の転出が顕著であるため、「**女性と若者の定着により社会動態をプラスに**」という第1期の基本方針は堅持
- 「**SDGsを原動力に**地方創生の『成功モデル都市』を目指す」ことを基本方針に位置付け
- 働き手の減少や産業構造の変化等を踏まえ、新たに、「**産業の活性化や生産性向上という地域経済の視点**」、「**質の高い暮らしと快適なまちの実現に向けたまちづくりの視点**」を明示
- 人口・地域経済・まちづくりの課題に一体的・重点的に取り組み、好循環を生み出す社会を目指す

### SDGsの推進



## 基本目標Ⅰ「北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする」



| 数値目標           | 目標値 (R6年度) |
|----------------|------------|
| 市内企業への新卒就職者数   | 4,600人     |
| 市内新規雇用者数       | 累計30,000人  |
| 企業誘致による新規雇用創出数 | 累計4,000人   |

### 具体的な施策・KPI (抜粋)

#### 若者の市内企業への就職促進

- ・市内大学との連携によるインターンシップの推進や市内企業と若者の出会いの場の創出
- ・早い段階からの職業観の醸成や将来の市内企業への就職に向けたキャリア教育の推進

#### 【KPI】

市内大学生の地元就職者数  
インターンシップ参加者数  
市内企業へのU・ターン就職者数

#### 中小企業の生産性向上・事業承継推進

- ・中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図るほか、ITを活用した商業・サービス産業の生産性向上を推進

#### 【KPI】

先端設備導入計画認定件数  
労働生産性向上計画認定件数  
事業承継、M&Aの承継企業数

#### 若者の雇用創出・拡大につながる企業誘致

- ・研究開発分野等の本社機能等の移転推進
- ・IT関連企業の地方拠点強化に向けた誘致

#### 【KPI】

本社機能等やIT関連企業の誘致による雇用創出数

#### 創業支援

- ・産・学・官・金連携のスタートアップ支援
- ・リノベーションまちづくりの推進による都市型新産業の創出

#### 【KPI】 創業件数

## 基本目標Ⅱ「北九州市への新しいひとの流れをつくる」



| 数値目標               | 目標値 (R6年度) |
|--------------------|------------|
| 移住希望者数 (お試し居住参加者数) | 毎年50人以上    |
| 外国人観光客数            | 70万人 (※)   |
| 北九州空港利用者数          | 200万人 (R2) |

※ R2年度中に新たな目標数値を設定する予定

### 具体的な施策・KPI (抜粋)

#### 定住・移住の促進

- ・メディアと協力して本市の魅力ある情報を首都圏等に積極的に発信するほか、本市への転入希望者を応援する仕組みづくりを推進

#### 【KPI】

北九州市の魅力度  
50歳以上の転入者増加数

#### 観光客増に向けた取組

- ・大規模な国際会議やイベント、国内外クルーズ船の誘致等の推進により、ひとの流入やにぎわいを創出

#### 【KPI】 観光客数・宿泊者数

#### 「関係・交流人口」の創出・拡大

- ・本市の食や住環境、市内企業の魅力を紹介するイベントを都内で開催し、首都圏でのネットワークを構築

#### 【KPI】

KitaQサポーター登録者数

#### 北九州空港のさらなる路線誘致・集客

- ・北九州空港の利用者数の増加に向けた航空ネットワークの充実強化
- ・インバウンドを通じた市内の交流人口の増加や消費拡大・賑わい創出

#### 【KPI】 北九州空港利用者数



## 基本目標Ⅲ「女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」



| 数値目標                        | 目標値 (R6年度)   |
|-----------------------------|--------------|
| ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業         | 累計1,600社     |
| 合計特殊出生率                     | 政令市トップクラスを維持 |
| 「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合 | 90%以上        |

### 具体的な施策・KPI (抜粋)

#### 女性活躍施策の充実

・就職、キャリアアップ、子育てとの両立、創業などをワンストップで支援し、女性の就業環境づくりを推進

【KPI】

25～44歳の女性の就業率  
ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数

#### ダイバーシティ経営モデルの構築

・女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への支援や企業の働き方改革を後押し

【KPI】

北九州イクボス同盟加盟企業数

#### 結婚・妊娠・出産・子育て・教育までの一貫した支援

・子育て世代包括支援センターの活用、保育や地域の子育て支援の量の拡大・質の向上による待機児童対策の推進

・結婚を希望する若者へのきめ細やかなサポート  
・子どもたちの確かな学力や体力、豊かな心を育む教育環境の整備

【KPI】

待機児童の解消  
(保育所待機児童数・放課後児童クラブ希望児童受け入れ)

全国学力・学習状況調査結果  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

## 基本目標Ⅳ「時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる」



| 数値目標                            | 目標値 (R6年度) |
|---------------------------------|------------|
| 「本市に住んでよかった、ずっと住み続けたい」と答えた市民の割合 | 90%以上      |
| 「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合         | 80%以上      |

### 具体的な施策・KPI (抜粋)

#### シビックプライドの醸成

・本市の誇れる資源や文化承継の取組の推進により、市民の本市への誇りや愛着を育む  
・地域課題解決に向けた人材の育成

【KPI】

「本市が好き」と答えた市民の割合  
北九州SDGsクラブの会員数・プロジェクト数

#### 文化芸術による創造都市・北九州の発信

・市内の文化的素材を活かした多彩な文化芸術事業の取組を通じ、創造都市としての魅力を発信  
・フィルム・コミッションの活動を推進

【KPI】

文化芸術を「身近に感じることがある」と思っている市民の割合  
海外作品来北撮影・ロケハン件数

#### 安全・安心なまちづくりと地域防災の充実

・本市のイメージアップを図るため、安全・安心に関する取組を市内外に発信

【KPI】

「安心だ(治安がよい)」と思っている市民の割合  
防犯パトロール活動への参加者数  
消防団員の充足率

#### 持続可能な地域商業拠点づくり

・まちなかでの新規出店や中小小売・サービス事業者の経営改善を推進  
・商店街等が地域コミュニティの担い手として行う取組を支援

【KPI】

主要商業エリアにおける新規出店数  
主要商業エリアにおける空き店舗率

# 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系図 (令和2年度～令和6年度)

## 基本方針

女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、SDGsを原動力に地方創生の「成功モデル都市」を目指す

産業の活性化と生産性の向上

質の高い暮らしと快適なまちの実現

## 基本目標

I 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ◆市内企業への新卒就職者数:4,600人
- ◆市内新規雇用者数:累計30,000人
- ◆企業誘致による新規雇用創出数:累計4,000人

II 北九州市への新しいひとの流れをつくる

- ◆移住希望者数(お試し居住参加者数):毎年50人以上
- ◆外国人観光客数:70万人(R2年度中に見直し)
- ◆北九州空港利用者数:200万人(R2年度)

III 女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業:累計1,600社
- ◆合計特殊出生率:政令市トップクラスを維持
- ◆「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合:90%以上

IV 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる

- ◆「本市に住んでよかった、ずっと住み続けたい」と答えた市民の割合:90%以上
- ◆「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合:80%以上

V 地方創生推進のための国の施策への対応

(特区・税制・政府関係機関誘致など)

## 具体的な施策とKPI

### 2 地域経済活性化の推進

1 市内企業への就職促進、新たな働き手の確保

- (1)若者の市内企業への就職促進
  - ・創業者数
  - ・市内大学生の地元就職者数
  - ・インターンシップ参加者数
  - ・市内企業へのUターン就職者数
- (2)中高年齢者の就業支援
  - ・中高年齢者の就職者数
- (3)若者の雇用創出・拡大につながる企業誘致
  - ・本社機能等やIT関連企業の誘致による雇用創出数
  - (4)ロボット・自動車などリーディング産業の振興
    - ・市内ロボット関連産業の売上高
    - ・市内ロボット関連産業の雇用者数
    - ・連携大学院輩出人材人数

- (5)エネルギー産業拠点の形成、さらなる振興
  - ・響灘地区総合拠点の産業用地利用率
  - ・響灘地区総合拠点利用ファーム数(予定含む)
  - ・再生可能エネルギー導入量
- (6)北九州空港の大規模な集貨・集客
  - ・北九州空港貨物取扱量
  - (北九州空港利用者数)
- (7)さらなる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進
  - ・海上出入貨物取扱量
  - ・コンテナ貨物取扱量
- (8)アジアに向けたビジネス展開や国際貢献
  - ・アジアの環境人材育成のための研修員の受入数

1 定住・移住の促進

(1)首都圏等からの大規模な人材還流

- ・北九州市の魅力度
- ・50歳以上の転入者増加数
- (2)多文化共生に向けた環境整備
  - ・市民の「多文化共生」という言葉の認知度
  - ・本市での生活が暮らしやすいと感じている外国人市民の割合

2 観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大

- (1)本市にゆかりのある若者等への還流・定着促進
  - ・KiteQサポーター登録者数
- (2)都心部における交流人口拡大
  - ・小倉駅前幹線年間集客数
  - ・北九州スタジアム集客数
- (3)観光客増に向けた取組
  - ・観光客数
  - ・うち宿泊者数
- (4)北九州空港の利用者数増に向けたさらなる路線の誘致・集客
  - ・北九州空港利用者数[再掲]

1 女性の就業促進

(1)女性活躍施策の充実

- ・25～44歳の女性の就業率
- ・ウーマンワークフェア北九州新規利用者数
- (2)ダイバーシティ経営モデルの構築
  - ・北九州イクボス同盟加盟企業数

2 子育てしやすいまち北九州

(1)結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで一貫した支援

- ・待機児童の解消
- ・保育所待機児童数(4月)・保育所待機児童数(10月)
- ・放課後児童クラブの利用を希望する児童の受け入れ(4月)
- ・全国学力・学習状況調査結果平均正答率全国比
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果が全国平均と同等以上の項目の割合

1 都市ブランドの構築

(1)シビックプライドの醸成

- ・「本市が好き」と答えた市民の割合
- ・北九州SDGsクラブの会員数
- ・北九州SDGsクラブのプロシエ外数

(2)安全・安心なまちづくりと住民による地域防災の充実

- ・「安心だ(治安がよい)」と思っている市民の割合
- ・防犯・アウトロー活動への参加者数
- ・消防団員の充足率

(3)文化芸術による創造都市・北九州の発信

- ・文化芸術を「身近に感じることがある」と思っている市民の割合
- ・海外作品来北撮影・ロケハン件数

2 地域間連携によるまちの魅力のさらなる向上

(1)関門連携

- ・宿泊者数、日帰り観光客数の増加に伴う消費の増加額
- ・関門地域の観光客数
- (2)連携中核都市圏の推進
  - ・都市圏域内の観光客数
  - ・都市圏域内の宿泊者数

3 コンパットプラズネットワークのまちづくり

(1)都市のコンパクト化推進や公共交通網の再構築

- ・居住誘導区域における人口密度
- ・公共交通分担率
- (2)都市のリノベーションの推進
  - ・空き家バンク登録物件数
  - ・空き家バンク成約件数
  - ・公共施設保有量

(3)持続可能な地域商業拠点づくり

- ・主要商業エリアにおける新規出店数
- ・主要商業エリアにおける空き店舗率